

PM2.5 を測ってみよう！

PM2.5 は『浮遊性微小粒子』

がん がん

ぜん息、癌などの病気
の原因物質

測定器：PM2.5ダストモニター

DC170

原理：レーザー光散乱法

対象：0.5～2.5ミクロン(μm)

の粒子

大気汚染測定運動東京連絡会

PM2.5簡易測定器の貸出しについて

2018年12月1日 大気汚染測定運動東京連絡会事務局

弊会は2018年度セブンイレブン記念財団の環境市民活動助成金を得て、PM2.5簡易測定器一台を購入し、屋外でも局所的な簡易測定が可能となりました。測定を希望される団体・個人に貸出せるよう準備しています。

大気中のPM2.5濃度はこれまでの経験からNO₂濃度が高いところでは、PM2.5濃度も高いことが知られています。まずは定例のNO₂測定でいつも高濃度のスポットでPM2.5濃度を測ってみるなど一度使ってみてください。そして地域、団体での測定活動の計画に組み込んでください。原則として大気汚染測定東京連絡会参加の団体を考えております、ご連絡をお待ちしています。

メール：taikisokutei@nifty.com

測定器 PM2.5ダストモニターDC170

米国T SI社製、佐藤商事輸入・販売

原理；レーザー光散乱法

対象；0.5～2.5ミクロン（ μm ）の粒子

特長

1. 軽量・コンパクトで携帯が容易。
2. 充電式バッテリー内蔵のため屋外での測定が可能。連続使用時間 約5時間
3. 直読とデータの測定器内保存が可能。
また、パソコンに繋ぎ、データ処理・保存が可能
4. 東京都監大気監視測定局での測定値との換算による換算変換により粒子の数をPM2.5の重量（ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）表示に換算が可能。

弱点

1. 表示が粒子数/立方フィート（ ft^3 ）であり、重量換算（ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）が必要。
2. 0.5ミクロン（ μm ）以下の細かい粒子は測れない。
3. 内蔵するバッテリーの充電能力のため、電源の無いところでは長期連続測定ができない（最長：約5時間）
4. 雨天における測定には適さない。



PM2.5簡易測定器による屋外測定の例